



NPO フェア・レーティング公開シンポジウム(2018 年度) (共同開催:日本財務管理学会 協力:株式会社 QUICK)

テーマ:「リーマンショックから 10 年～格付け・格付業界はどう変わったか？」

日時: 2018 年 12 月 22 日(土)午後2時～5時 (その後懇親会)
場所: 文京学院大学・本郷キャンパス(最寄り駅 地下鉄南北線・東大前 徒歩0分)
〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1 B 館 8 階 B-812 多目的教室(ウイングホール)
参加費: 無料、なお、懇親会に参加する場合、懇親会費 2,000 円を当日徴収

参加申込方法及び地図は末尾をご参照ください。

<プログラム>

総合司会: 田村香月子(関西大学商学部 准教授)

14:00 本シンポジウムの趣旨説明: 森田隆大(NPO フェア・レーティング代表理事)

14:10 基調報告:

「日本企業の格付けと社債市場の問題」

黒沢義孝(NPO フェア・レーティング副代表理事)

「格付けの役割と格付会社のオペレーションはここ10年どう変化したか？」

森田隆大(NPO フェア・レーティング代表理事)

15:10 休憩

15:20 パネルディスカッション:「リーマンショックから 10 年 ～ 格付市場はどう変わったか？」

論点

リーマンショックの発生から今年で 10 年。その間、格付会社に対する規制の本格導入、金融当局による非伝統的な金融政策の実施、英国の EU 離脱、トランプ米大統領の登場、地政学リスクの頻発、エネルギー価格の混乱、EV(電気自動車)の普及、フィンテックおよび AI の躍進など、ここ 10 年で政治・経済・経営環境が激変したと言えよう。こうした構造変化が社債市場、格付市場、日本企業の信用力、および格付会社の経営・オペレーションにどのような影響を与えたのか、現状を点検する。

パネリスト(敬称略)

阿竹敬之(SMBC日興証券株式会社 金融経済調査部クレジットリサーチ課長)

大槻奈那(名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科 教授)

黒沢義孝(埼玉学園大学大学院客員教授・NPO フェア・レーティング副代表理事)

炭谷健志(日本格付研究所 格付企画部長)

田中英隆(格付投資情報センター 元取締役・専務執行役員)

中井勝之(S&P グローバル・レーティング・ジャパン事業法人格付部 主席アナリスト)

花立真紀(PGIM ジャパン 投資運用本部 シニア・クレジット・アナリスト)

原裕一(みずほ証券 格付けアドバイザーチーム長)

廣瀬和貞(アジアエネルギー研究所代表・NPO フェア・レーティング理事)

森田隆大(森田アソシエイツ代表・NPO フェア・レーティング代表理事)

モデレーター

小林修(イー・スリー・アナリティクス代表取締役・NPO フェア・レーティング理事)

田村香月子(関西大学商学部 准教授)

17:00 閉会の辞: 箕輪徳二(埼玉学園大学経済経営学部教授・NPO フェア・レーティング理事)

17:15 懇親会(文京学院大学 S 館 S-0102 B's カフェ)

<参加申し込み方法>

下記事項をご記入の上 Eメールでお申し込みください

- (1) 氏名
- (2) 勤務先・お仕事(記入自由)
- (3) 連絡先 Eメール・アドレス(又はファックス番号等)
- (4) 懇親会ご参加の有無(懇親会参加費2,000円当日徴収)

送付先Eメール・アドレス:

moritatakahiro1@mac.com (森田隆大宛)

<会場(文京学院大学・本郷キャンパス)案内図>

